

東濃信金 ビジネスマナー指導 取引先新入社員を対象



取引先企業の新入社員を対象に開かれた
ビジネスマナーのセミナー＝多治見市
本町、とうしんウェイプラザ

東濃信用金庫(多治見市)は21日、取引先企業の新入社員を対象に、ビジネスマナーを学ぶセミナーを同市本町のプラティ多治見内のとうしんウェイプラザで開いた。

セミナーは、取引先の中小企業の新入社員を対象に毎年実施。今年は22日までの2日間で行われ、岐阜、

愛知県の製造業、医療・福祉関連、サービス業など21社から新入社員71人が参加する。

講師を務めた同金庫の職員は、ビジネスマナーの重要性について「身に付くと人間関係が良くなり、仕事が進んで、高い成果が上げられる」とアドバイス。第一印象を良くするポイントは「清潔感があることや明るい表情、姿勢の良さなどが印象を良くする」と説明した。

応用編として新入社員らは、来客や電話応対のマナーなどを実践を交えながら学んだほか、社会人に必要な金融リテラシーの知識も身に付けていた。

(小森孝美)